

ホクレンの営農情報誌



ap
hokuren
agriport

アグリポート

2-3月号

FEB.-MAR.
2018
VOL.11

政策の見直しで、稲作はどうなる？

米づくりの行方

ホクレンマーケット通信

堅調な需要で増産が求められる道産小豆

牛の管理業務を劇的に軽減する

ファームノートに注目!

実家は米農家で、私が4代目。農業高校を卒業後、研修生としてアメリカの大学・生産者のもとで2年間勉強し、帰国後に東鷹栖農協に入組しました。以来退組するまでの35年間、ほぼ営農・販売ひとすじです。私が思う営農指導の本質は、生産者の身になって考え、その人に合った最適な方法をともに考えていくこと。昔の話ですが、青年部に協力してもらい、地域・土壌区分ごとに地下1mの地層がわかる土壌断面サンプリ（土壌モノリス）を作って、各農家さんの土づくりの参考にしてもらったこともありました。

平成8年に上川ライスターミナルを立ち上げたときは軌道に乗るまで苦労もありましたが、大きな転機は平成11年。乾燥機をお持ちの農家さんに「半乾」（粗を水分18%まで下げる）の状態に搬入していただくことで、利用率の確保と施設利用料を下げることができました。そして、これが万全な乾燥調製体制と安定出荷につながる突破口となり、難局を乗り越えることができたのです。

いま、北海道は名実ともに日本屈指の米どころとなりつつありますが、かつては「北海道米は知らない」と面と向かって言われ、悔しい思いをしたこともありまし

あの人の VIEW POINT

安全・安心の追求と ブランド価値の向上 を目指して

ホクレン農業協同組合連合会 代表理事副会長 柿林 孝志



た。関係者の方々の不断の努力で食味が増し、北海道独特の「安全・安心」というクリーンなイメージも消費者に支持され、現在は立派な「北海道ブランド」が確立しています。今後はこのブランド価値を維持・向上させるため道内の水張面積を減らすことなく、生産者、農協、ホクレンのつながりを層密にしていきたい。私も先輩方からお声がけいだいて現職にありますが、10年後20年後の北海道の農に貢献できる仕事を残して皆さんにバトンを渡せたら、と思っています。個人的には農を通じて皆さんの友を得ました。全国にいる彼らに会いに行くのも楽しみです。

contents

03 特集

政策の見直しで、稲作はどうなる？

米づくりの行方

03 米政策はどのように変わる？

07 消費者や市場に求められる米とは？

09 生産現場で備えはどうする？

11 低コスト・省力化の最新情報を教えてください

13 ホクレンマーケット通信

- 堅調な需要で増産が求められる道産小豆

15 みんなの取り組み広場

- アスパラガス生産性向上に向けた講習会開催
- メドウフォックスティル抑制に関する取り組み

牛の管理業務を劇的に軽減する

17 ファームノートに注目！

21 品種・技術 ここがポイント！

- ねぎの簡易軟白栽培における黒腐菌核病の防除対策
- たまねぎ育苗培土“オニオンエースPアップ”かん水管理のポイント

25 情報 clip

- 「ダンロップ」トラクター用タイヤ モニター報告
- 最新!農作業着ファッションショーが大好評
- 役に立つ点検整備グッズや小農具人気ランキング・ベスト3
- 中古農機インターネット情報「アルード」リニューアル

32 読者の皆さんからの声

33 読者の皆さんからの写真

Profile：1948（昭和23）年、旭川市生まれ。1972（昭和47）年、東鷹栖農業協同組合入組。合併を経て2003（平成15）年、たいせつ農業協同組合に改組。2007（平成19）年の退組後も周囲の薦めで理事に就任。2010（平成22）年、たいせつ農業協同組合代表理事組合長。2012（平成24）年、上川ライスターミナル株式会社代表取締役。他多数の要職に就き、2017（平成29）年、たいせつ農協会長理事、ホクレン農業協同組合連合会代表理事副会長に就任。
（鷹栖町の上川ライスターミナルにて撮影）



Q 米政策はこれまでどのように変化してきたのですか？

A かつて米は政府が全量を買入れ、売って仕組んでいました。しかし、1967（昭和42）年に100%自給化を達成して以降、米が余るようになり、それまでとは一転、いかに減らしていくかが課題になったのです。そして

質問

米政策はどのように変わる？

米政策はどのように変化してきたのか。そして今年からなにが見直されるのか。JA 北海道中央会の夏井^{もゆる}萌さんに、分かりやすく解説してもらいました。

政策の見直しで、稲作はどうなる？

米づくりの行方

今年から米政策が大きく見直され、国の生産数量目標の配分が廃止となります。道内の米づくりには、どのような影響があるのでしょうか。米政策の変遷から販売の現状、新技術の見通しまで「米づくり」についての疑問や課題をさまざまな方にお聞きしました。

1967年 米の完全自給を達成

- 米の消費量減少
- 生産技術向上などによる生産量の増加

過剰生産

財政負担増

1969年 自主流通米制度の実施

1971年 米の生産調整本格化

食糧管理法 生産調整本格化

国が全ての米を管理。
過剰生産により、国の財政を圧迫化。

食糧管理法 戦前からの米不足

戦前からの米不足が続き、
食糧管理法（食管法）によって国が全ての米を管理。

米政策の変遷



1971（昭和46）年から米の生産調整が本格的に始まり、以来40年以上にわたって続けられてきました。

その後、1993（平成5）年の大凶作と、ウルグアイラウンドの国際合意によるMA（ミニマムアクセス）米の受け入れにともない、食糧法から食糧法に制度が変更。流通を民間に任せるようになります。国の役割は、いざというときのために備蓄をすること、米の輸入を管理することが中心になりました。

次の変化は2004（平成16）年。米政策改革大綱が実施され、食糧法が改正されました。大きく変わったのは、生産調整がネガ方式からポジ方式になったこと。それまでは「来年はこれだけの面積を減らしましょう」と国が都道府県に割り当てていたのですが、「これだけの数量をつくりましょう」と、需要に応じた生産数量目標を配分するようになりました。

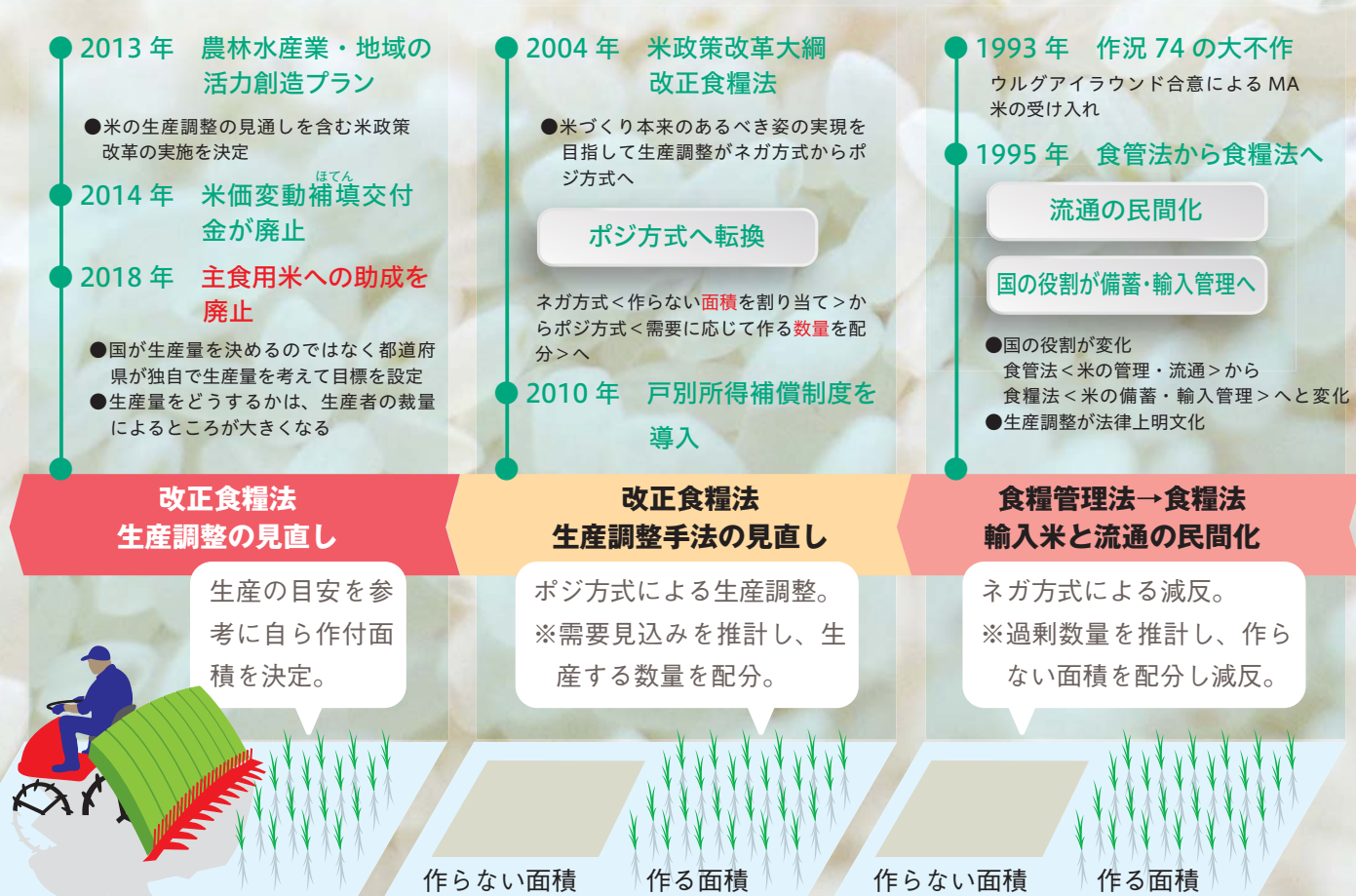
さらに2007（平成19）年からは、生産数量目標の設定を民間に任せるかたちになりました。国は都道府県に需要動向の情報を提供し、都道府県が地域水田協議会に伝え、それを受けてJAなどの「生産調整方針作成者」が生産数量目標を生産者に面積として配分することになったのです。しかし、この情報提供はトップダウンで、実際は国の配分とかわりませんでした。

答え

JA北海道中央会 農政部
水田農業課 主幹 夏井 萌さん



行政による生産数量目標の配分がなくなり、独自の判断が求められるようになります。



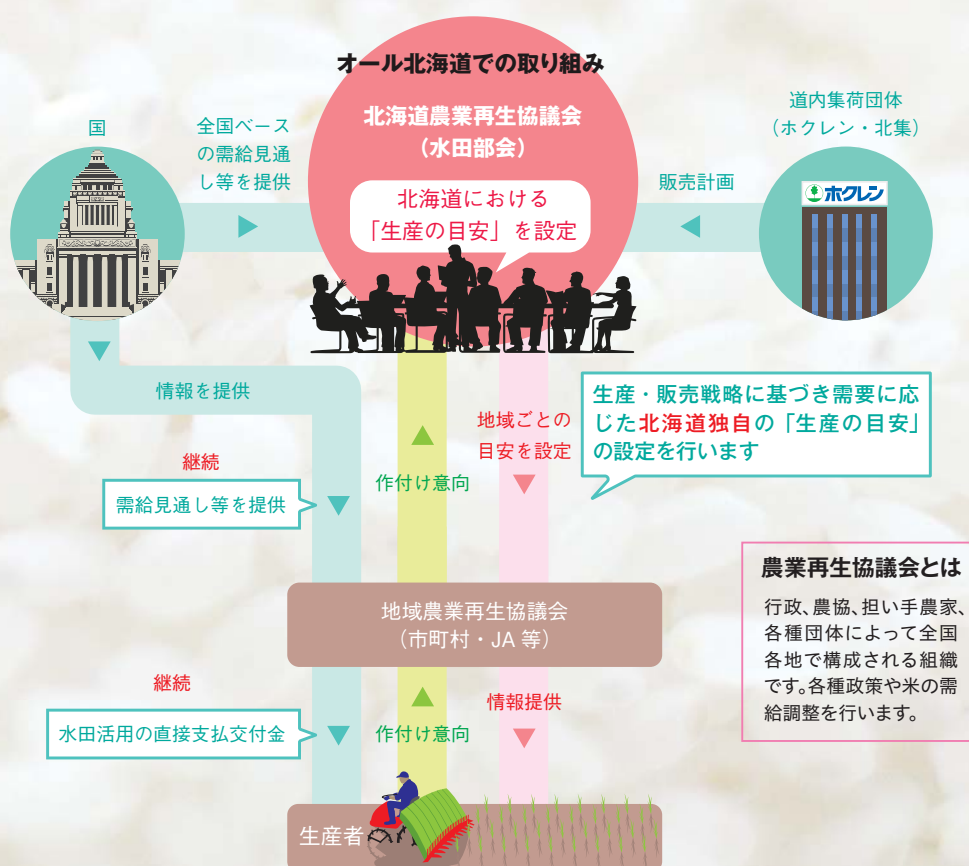
Q 今年から、なにが変わる？

A 2018年、国は全国ベースでの需要見通しは示すものの、都道府県別の生産数量目標の割り当てをやめました。これまでは国が示した数字に基づいて生産していればよかったのですが、これからは都道府県の関係者が独自で生産量を考えなくてはなりません。米価が上昇基調なのか下落基調なのか、北海道米の在庫が多いのか少ないのか、市場で売れているのかいないのか、総合的に考えて去年より減らすべきか、それとも増やした方がいいのか、自分たちで判断する必要があります。

Q 去年より増やす？減らす？

A 国が示した今年の需要量は据え置き735万トン。北海道では、北海道米の需要は堅調なものの、近年北海道の水稲作付面積が減少していることから、現在の需要に安定的に供給するため、29年産と同水準の約9万9千haを生産の目安としました。また、生産量は統計の面積当たりの平年収量増加で、昨年より5千トン多い、54万1千トンとなっていますが、作付規模は変わっておりません。今後、地域再生協議会ごとに示される「数量」と「面積」の目安は、生産者別に提示することを基本に、地域ごとに検討されます。

30年産「生産の目安」に基づく生産の流れ



Q 生産量は誰が決めるの？

A これまで国が示した数字に基づいて認定方針作成者が配分したものを「生産数量目標」と呼んできましたが、今年からこの目標はなくなります。北海道ではそれに代わるものとして「生産の目安」を設定します。協議するのは、道庁をはじめ、農業団体、集荷業者などで組織する「北海道農業再生協議会」の水田部会。これまでの販売実績や北海道米に対する需要などを踏まえた上で全道の目安を割り出します。さらに今回は産地ごとに作付けの意向を初めて調査。米の生産を徐々に減らしていきたい産地と、米を中心にやっていきたい産地、それぞれの意向にあわせて地域ごとに調整しました。

質問

米政策が変わって「どうする?」「どうなる?」

答え

JA北海道中央会 農政部
水田農業課 主幹 夏井 萌さん

Q 生産の目安を守らないとどうなる？

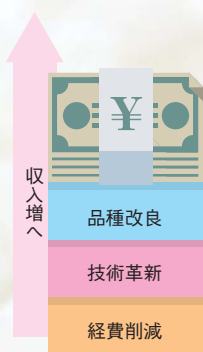
A これまでのように生産数量目標を守れば補助金がつくというメリットはなくなるので、好きなだけ自由につくりたいという方もいるかもしれません。仮に生産者が少しずつ生産量を増やすと、全道ではかなりの増産となり、需給がだぶついて値崩れを招く恐れがあります。生産の目安は「道内でこれだけの量があれば安定して販売できるし、農家所得も確保できる」という数字です。もちろん平年作で採れた場合の数字で、

作況によって変わってしまう難しさはありますが、まずはこの目安を達成することが、農業者の経営安定につながるはずです。



Q 生産調整の仕組みはなくなるの？

A 国は生産調整のための交付金をやめるわけではありません。主食用米以外の作物への「水田活用の直接支払交付金」は継続します。主食用米にくらべ収益性の劣る麦や大豆、飼料用米をつくれれば交付金が支給されます。もし「なんでも好きにつくっていいですよ、国は関知しません」というのなら、水田活用の交付金も廃止するはず。転作のメリットは残し、それによって生産調整できる仕組みになつていくのです。



とはいえ「米の直接支払交付金」による主食用米への支援である7500円/10aがなくなる影響はあるでしょう。1俵に換算すると800円くらいになりますが、上昇基調にある米価を維持、もしくはもう少し上げるとともに、経費を抑えることも重要になってくるでしょう。技術革新や品種改良なども積極的に取り入れる姿勢が求められます。

北海道 水稲全体 (107,019ha)

主食用米 (99,015ha)

- 需給は不透明な面がある。
- 北海道米の需要に対する安定供給が可能な作付けの維持が競争力確保には不可欠。
- 生産者の所得安定に向け、29年産と同程度の作付面積を確保していく。

加工用米 (5,273ha)

- 市場が伸びている。
- 需要を確保するために昨年の取組実績を基本に伸ばす。
- 助成金あり。

その他(2,731ha)

- 飼料用米、輸出用米など
- 地域の作付け意向を踏まえて設定します。
- 助成金あり。

需給に応じて加工米とその他の比率を高めて収入確保

比率を変えて収入確保

Q 将来の見通しは？

A 私たちが重視すべきなのは水稲全体の面積だと考えています。主食用米の市場が伸びているときには主食用米の作付けを増やす、米価が下落傾向のときは安定的な需要が見込める加工用米を増やす、というように局面に応じて切り替えながら全体のパイを増やしていくのが理想です。こうした微調整は、ある程度の水張面積がなくてはできません。現実には北海道の水張面積は毎年千haずつ減り続けています。このままのペースで減っていけば7年後には主食用米をつくるだけで手一杯になります。生産者の高齢化が進んで府県の生産力が落ち、北海道でもっと米をつくってほしいという状況になっても、水張がなければ難しい。だから、主食用米・加工用米・飼料用米にこだわらず、米をつくって水田を維持してほしいのです。

高齢の生産者が離農すると、地域の担い手が農地を引き受けるかたちで大規模化が進んでいます。しかし、米はほかの作物に比べて手間がかかるので、労働力不足から麦や大豆など機械を使える作物に置き換わってしまうケースが少なくありません。この先、全道の水張面積を維持できるのが最大の課題になってくるでしょう。

質問

消費者や市場に 求められる米とは？

家庭での米の消費は減少傾向ですが、業務用や加工用は需要の拡大が見込まれています。高品質なプレミアム米だけではなく、さまざまな用途に応じた品種の生産が欠かせません。

答え

需要に応じた生産こそ、農業所得の向上につながります。



ホクレン 米穀事業本部
米穀部 米穀総合課
駒形 剛 課長



テレビCMで「ゆめぴりか」「ななつぼし」といった北海道米ブランドをPR。「米どころ北海道」のイメージが浸透しましたが、「CMはあくまできっかけ。食べておいしいからリピートしてくれるんだと思います」と駒形さん。認定マークのない基準外の商品が家庭用として流通すると、せっかく築いてきたブランドの崩壊につながりかねません。



Q 所得向上のためにどのようなことをしていますか？

A 今年から各産地が主体的に「需要に応じた生産」に取り組むことになりました。需要に対し供給が多すぎれば価格は下がりますし、足りなければ安定的に供給できず、取引先を失うことになりかねません。なによりも需要に応じて生産することが、安定供給とともに、農業者の所得向上につながると考えています。

米の需給が変動した場合にも、経営の安定を図るために力を入れているのが、実需を見据えた販売先との「複数年契約」です。29年産では、前年対比10万トン以上拡大させるなど、

中長期的な需要確保を進めています。

さらには、中食（弁当類）や外食などの市場が伸びているので業務用需要への対応も重要です。品種などの特性に応じ、粘りがあって硬くなりにくいのでチルド弁当向き、粒がしっかりといて酢飯に適するので寿司向きなど、具体的な試験データ等を提示しながら安定的で有利な販路開拓に取り組んできました。

こうした商談のバックボーンになっているのが、北海道の生産力と商品力です。銘柄や品位を指定して数千トン単位で契約に応えられる北海道だからこそ、強い競争力が発揮されます。それだけに近年作付面積が減少していることは、需要に応える競争力を確保

するうえで大きな課題です。生産基盤の維持に向け、低コスト・省力化栽培への取り組みも強化しています。

Q 所得安定のポイントとは？

A 29年産米は、天候不順により東北や北陸などの生産量が落ち込んだこともあり、価格は上昇傾向で推移していますが、価格が上がるのと麺やパンなど米以外の需要が伸びて米の需要が落ち込む側面もあります。高値だからと主食用をいきなり拡大するのは危険です。

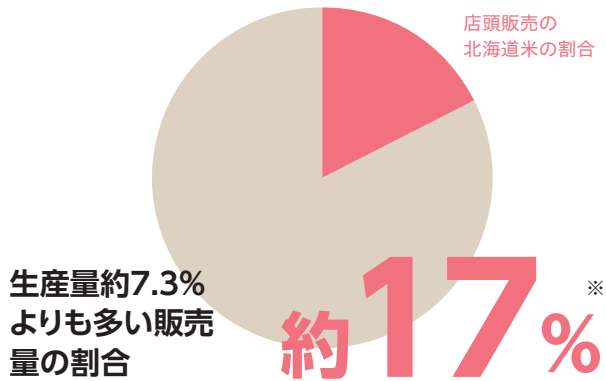
これまでのように生産数量目標を守れば交付金がもらえるというメリツトがなくなるため、高く売れる米をより多くつくりたいと思う方もいらっ

しやるでしょうが、ゆめぴりかなどのプレミアム領域の需要は、家庭用全体の9%程度。ニーズが限られるところに大量に供給すれば、価格は低下し自らの立ち位置を苦しくすることになってしまいます。

そこで取り組んでいるのが「用途別販売」です。主食用を中心としつつ、需給の動向を見ながら、加工用など用途別の需要に戦略的に対応していくものです。

生産の意向や販売実績などをベースに策定された「生産の目安」に基づき、需要に応じた生産を進めていくことが、「経営の安定」と「日本一の米どころ北海道」の実現を目指すうえで重要と考えています。

北海道米をめぐるマーケットのキーワード



全国 750 万トンのうち、北海道の生産量は約 7.3% ですが、店頭で販売されている割合は約 17%。相対取引価格も上昇傾向です。

※米穀機構 RPマンスリー販売POSデータ(平成28年10月～平成29年9月)



特A

全国的に高い
評価を受ける

※一般財団法人日本穀物検定協会調べ

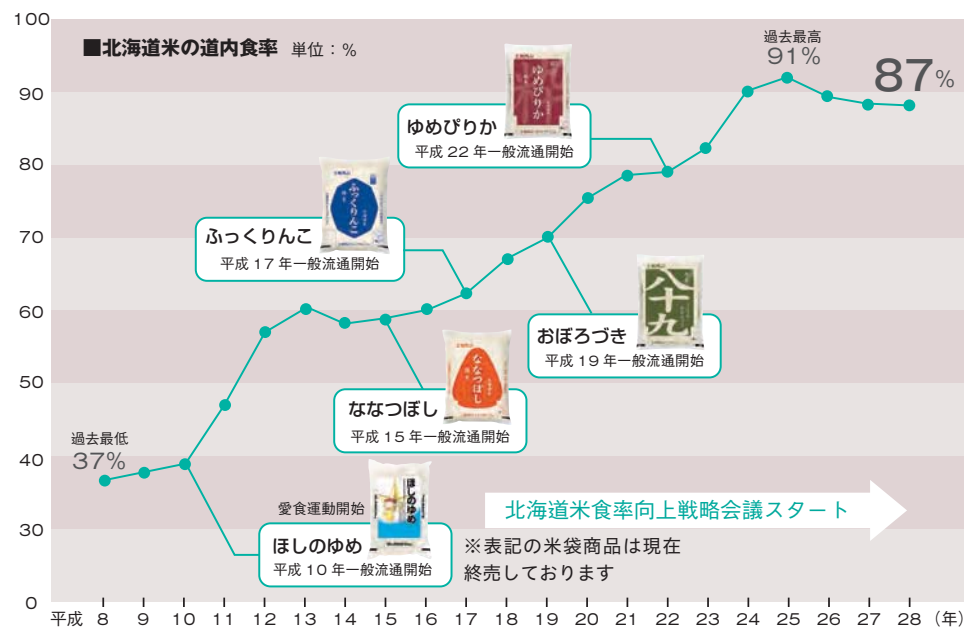
「ゆめぴりか」「ななつぼし」は7年連続(平成22年産米～平成28年産米)、「ふっくりんこ」は3年連続(平成26年産米～平成28年産米)、食味ランキングで最高位の特Aを獲得するなど、食味にも高い評価を得ています。

道民に支持される 北海道米に成長

道内シェア
9割 ※弱

道内の米消費量に占める北海道米の割合は87%(平成28年)。良食味米の品種開発や栽培技術の研究が実り、平成8年の37%から2倍以上に!

※北海道農政部調べ

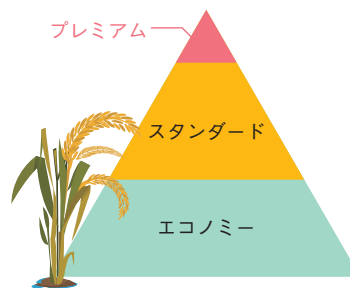


コンビニなど 業務用

高品質を安定的に
供給できる強み



伸張する中食・外食需要には、均質で大ロットの供給が不可欠。大型集出荷施設を備えた北海道米は、コンビニエンスストアなど、大手需要先にも好評を得ています。



家庭用向けの
プレミアム米
領域の需要は

※
約9%

プレミアム、スタンダード、エコノミーで区分すると、プレミアム領域の購入者は約9%。需要構造とバランスをとった作付けが重要です。

※米穀機構RPマンスリー販売POSデータ(平成28年10月～平成29年9月)
5kg精米2,200円以上の割合。

質問

生産現場で 備えはどうする？

今回の米政策の見直しについて、生産者の皆さんはどのように捉えているのでしょうか。厚真町で稲作に取り組む堀田昌意^{あつお}さんに経営環境の変化に対する心構えや対策について聞きました。

答え

北海道農協青年部協議会
副会長 堀田 昌意 さん(JAとまこまい広域)

みんなで決めて、みんなで
取り組むことがやっぱり大
事なんだと思います。

Profile : 1982 年、厚真町生まれ。平成 14 年に就農したときは 7ha だった営農規模を 31ha まで拡大。水田 14ha と原木椎茸を 2 本柱に、小麦、大豆、カボチャ、サツマイモ、アスパラ、ハスカップを栽培しています。父親と妻、子ども 3 人の 6 人家族。



Q 政策はどう思いますか？

A 16年前、僕が就農したときは7haでしたが、離農する方の農地を借りて面積を増やし、今は31haになりました。うち14haで米を作っています。本来なら借地に使用料を払うより買いたいのですが、引退したおじいちゃん・おばあちゃんにも生活がある。厚真町は3〜4haで水田をやった小さな農家が多いので「うちで作るよ」と言うと、安心してくれるんですよ。

そういう状況なので、今回の政策の変更はもちろん不安です。今年からなくなる主食用米への支援の7500円/10aの穴をどう埋めるのか。一方で借金の返済は変わらず続くわけじゃないですか。心配じゃない農家はいないと思います。

Q 何か独自の対策を考えていますか？

A 対策といっても、農業経営は十人十色で、これをやれば大丈夫というような方法はないでしょう。家で野菜をつくって消費を減らすとか機械の更新時期を延ばすとか、それぞれ自衛策を考えているはずですよ。

僕は去年の春にトラクターと田植機にGPSを導入しました。厚真町とJAが協力してRTKのアンテナを立ててくれたのがきっかけです。自動操舵は運転が不要なので旋回だけは操作しますが、一人で田植えが可能です。かなりの省力化につながりました。

また、去年から「大地の星」という品種で乾田直播の試験栽培も始めました。積算温度が若干足りなくて

完熟までもっていきなかったのですが、まずまずの収量でしたよ。

新しいことに挑戦するときに頼りになるのがSNSです。農業士会や青年部、厚真町の農業委員会の仲間とフェイスブックでつながっているんで、困ったときは「どうしたらいいべ」と写真を載せると、すぐにコメントやメッセージが返ってくるんです。

Q 今後、どのようにしようとお考えですか？

A 道青協で行っている「道産農畜産物求評研修会」で東京や大阪、名古屋などに出かけ、卸売業者や量販店で北海道米の評価を聞いてきました。どこへ行っても「取り扱いを増やしたい」「もっと作ってくれ」と言われます。北海道米の需要が高まっているのは間違いありません。

問題は単価ですよ。僕は機械を更新できなくなったら終わりですから、再生産が可能な価格を維持してほしい。そのためには需給のバランスを維持することが重要。みんなで決めて、みんなで取り組むことがやっぱり大事なんじゃないかな。

その上で一人ひとりの努力も必要です。僕らのJAでは、70歳を越えた先輩が稲わらを出し始めたんですよ。白老牛のエサに売れば少しは足しになるって。そういうふうに新しいことを始めて頑張っている姿を見たら、勇気付けられます。堆肥をもらってきて撒いたり、除草剤をやめて畦の草を自分で刈ったり、工夫できることはまだまだある。経営者として時代に即した農業のスタイルを模索していくのも大切だと思うんです。



祖父が始めた椎茸の原木栽培。菌床栽培が増えたことで価格が低迷した時期もあったものの、販売ルートを開拓して売り上げを確保。通年栽培で安定的な収入源に。

堀田農場の取り組み

GPS の導入



トラクターと田植機にGPSのガイダンス装置・自動操舵装置を導入。水田だけではなく、麦・大豆・カボチャの畑でも活用して労働負担を軽減。

乾田直播の試行



直播用の播種機を購入。去年から60aで乾田直播栽培を試験栽培。10a当たり590kgの収穫を確保。育苗と田植え作業の軽減化を図ります。

米に依存しない



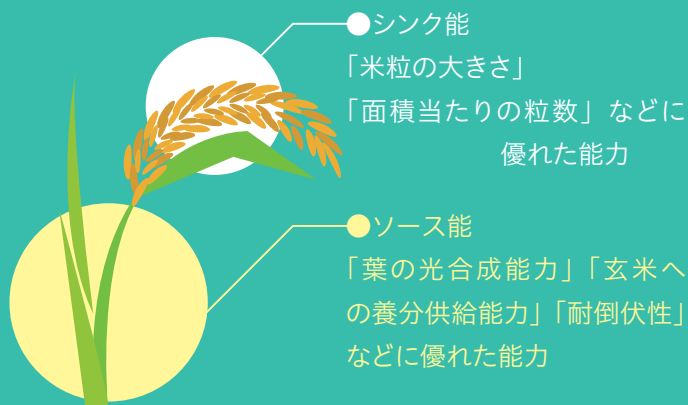
原木椎茸と米、2本柱の経営でリスクをカバー。米づくりだけにこだわらず、戦略作物助成や畑作の経営所得安定対策の制度も視野に入れます。

SNS で情報交換



地域の仲間だけではなく、全道の生産者とSNSでつながり、こまめに情報交換。ちなみに堀田さんのfacebookの友達は400人以上。

品種開発はどのようなことに着目しているのか



シンク能……大きさや数など外観による特徴をつかみやすい。これまでの品種開発では重視されてきた。
ソース能……目視ではつかめない特徴のため評価が難しい。
新たな知見によりこれから強化していく。

これからの品種開発



DNA マーカー利用など選抜の高度化などに加えて、これまで難しかったソース能や稲の草型にも着目した品種開発を進めています。

例：これまでの品種と同様な粒数（シンク能）に加え、光合成能力が高い能力（ソース能）を確保することで、多収を実現します。

質問

低コスト・省力化の最新情報を教えてください

所得の向上には、米を高く売ると同時に経費の削減も欠かせません。ホクレンは各種機関と連携し、低コスト&省力化を実現する新しい品種の開発や技術の研究も進めています。

答え

品種開発 極多収品種の開発に向け 光合成能力に着目した 研究が始まっています。



ホクレン 米穀事業本部
米穀部 米穀生産課
紺屋 貴弘 課長

ホクレンは北海道や道総研中央農業試験場などと連携し、平成27年度に「低コスト・省力化技術検討会議」を設立して、北海道の栽培環境に適した低コストで省力的な生産システムの検討・普及に取り組んでいます。

生産者の高齢化による作業負担の限界や、規模拡大による労働力不足など生産現場が直面する課題を、新品種の開発や新技術の普及で少しでもカバーしたいと考えています。

品種開発では、多収性に関する遺伝解析の研究を進めています。これまでの品種開発は、粒の大きさや面積あたりの粒数など、目で見て分かる優れた能力（シンク能^{の3}）を重視し育種選抜してきましたが、新たに葉の光合成能力や種子への養分供給能力、耐倒伏性など潜在的な能力（ソース能^{の3}）に着目した評価方法の導入に向け、DNAマーカー開発の試験研究に着手しました。既存品種対比130%多収を目標に極多収品種を早期に開発して、低コスト・省力化を後押ししたい。品種開発は時間のかかるものですが、加速度をつけて取り組んでいきたいと考えています。

また、田植えをせず、田んぼに直接種を播く直播の新品種の開発も継続中。食味もよく安定収量の見込める直播品種の開発を急いでいます。



圃場水管理システム

センサーで水田の水位と水温を感知。離れた場所からスマホ操作で給水と排水を行います。飛び地など水田の見回り作業の軽減に威力を発揮します。



水田センサー「パディウォッチ」

田んぼの状態を離れた場所からスマホでチェックできます。水位・水温・気温・湿度が分かる上位モデルと、水位・水温のデータだけに絞った低廉モデルがあります。

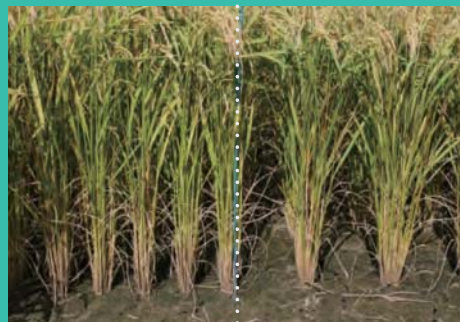
置床鎮圧育苗

ポット定置前に育苗ハウスの地面をローラーで鎮圧する方法です。成苗ポットの設置や、苗のはぎ取り作業がラクになるほか、軽トラが中まで入っていただけるため作業時間が短縮します。



密苗

育苗箱に通常の3倍くらい密播することで、10aあたりの育苗箱使用枚数を大幅に減らす方法。育苗資材や作業時間を削減できるものの、専用の移植機が必要になります。苗が小さいうちに移植するので温暖な地域向きです。



疎植

株間を慣行栽培より広げるため、10aあたりの育苗箱使用枚数が減ります。従来より苗が少なくて済むので、移植時の苗運びがラク。慣行栽培並みの収量が見込めますが、タンパクが若干高くなる傾向があります。

答え 生産技術 経営環境に合った 新しい栽培技術や ICT 機器に注目です。



ホクレン 米穀事業本部
米穀部 米穀生産課
岩下 徳之 考査役

北海道の稲作が持続的に発展するためには、経営規模の拡大や生産性の向上に対応するための新技術の導入が必要不可欠です。ホクレンでは平成28年度より新しい栽培技術やICT技術の実証試験を道内13カ所で行った。29年度は49カ所に増やして、普及に向けた検証を行ってきました。

栽培試験では、移植の株間を慣行栽培より広げる「疎植」、育苗箱に高密度で播種する「密苗」など、どちらも育苗コストの削減や移植の労力削減に着眼した栽培方法を試行。収量では、疎植が慣行より若干下回るものの、密苗は慣行並みの結果が得られました。ICT分野でも水田センサーや自動給水装置を実際の生産現場で使って、スマホからの遠隔操作で圃場の状態を把握するなど実用化に向けた課題の検証を行いました。導入を検討される場合などは、お近くのJAやホクレン支所にご相談ください。

国内外の市場で起きている変化や動向を発信します。

ホクレン 農産部 雑穀課

堅調な需要で増産が求められる道産小豆

北海道産の小豆は、その風味の良さやおいしさで和菓子を中心に欠かせないものとなっており、安定供給が求められています。

北海道産小豆の需給動向

小豆は、餡（あん）として、お菓子などの原料に広く使われています。輸入物を含む国内の小豆の消費量は、食の多様化や加糖餡等の輸入などから、若干減少傾向ですが、年間130万俵前後で推移しており、直近では135万俵（前年比106%）となっています（平成29雑豆年度（28年10月～29年9月））。そのうち、北海道産の小豆については、95万俵前後が消費され、用途別ではお菓子と餡で9割を占めます（図1）。

平成30雑豆年度（29年10月～30年9月）の道産小豆も、大手製パンメーカー等、輸入品を使用している実需者に道産品の使用数量拡大を推進したことから、約92万俵と安定した消費が見込まれ、堅調な需要が確

保されています。

しかし、29年産の北海道産小豆の面積は1万7900haと、前年（1万6200ha）よりは増加したものの、平成29年の作付指標（2万ha）を下回りました。生育が順調に推移したので収量が47俵、10aと平年（43俵、10a）を上回り、84万4千俵（うち、商品化数量80万2千俵）が生産されましたが、年間の消費量には及ばず、前年からの繰越（46万9千俵）と合わせた供給量で需要をまかなっている状況です（図2）。その繰越分も平成30年産では、さらに低い水準が予想されており、面積確保が必要な状況です（平成30年の作付指標は2万2000ha）。これからも安定した需要を維持するため、実需の要望に応える小豆生産が求められます。

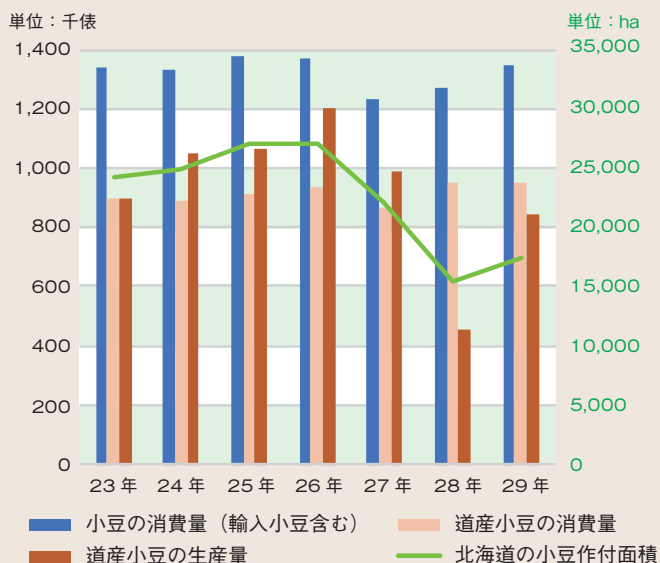


図2. 道産小豆の需給動向

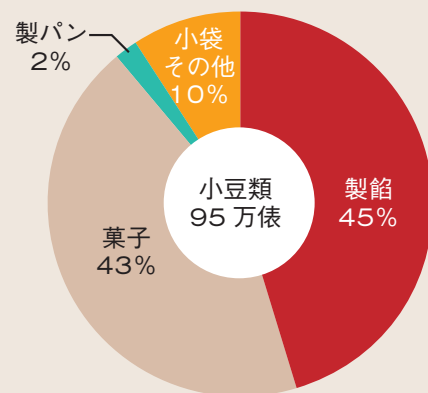


図1. 道産小豆の用途別消費動向

※年間消費量、生産量はホクレン推算。作付面積は農水省発表値。
（なお、各年の消費量は前年10月～当年9月までの雑豆年度ごとの消費量（例：29雑豆年度は28年10月～28年9月））



②新正堂 切腹最中、③横濱銚子屋 玉羊羹
④一炉庵 練切、⑤白松がモナカ

①「全国和菓子協会と十勝生産者との交流会」での試食会

CASE ● 全国和菓子協会 専務の講演から

北海道小豆によって 生かされる和菓子

ホクレン、全国和菓子協会主催の「全国和菓子協会と十勝生産者との交流会」が昨年11月28日、幕別町で開かれ、同協会の専務 藪光生氏が基調講演した概要を紹介します。



全国和菓子協会
専務 藪光生さん

和菓子は、主に小豆やいんげんなどの豆類と米によって作られています。そのうち、小豆はその多くを北海道産が占めています。和菓子は北海道産の小豆で支えられているといっても過言ではないのです。

では、輸入小豆や、輸入加糖餡があるのに、なぜ価格が高い北海道の豆を使うのでしょうか。それは、北海道産の小豆や大手亡などが、風味豊かでおいしいからということに尽きるのです。

和菓子の大切な原材料の中心である北海道産小豆の平成29年度の収穫量は約84万俵で、そのうち商品化量は約80万俵と見込まれています。豊作ではあったものの、約95万俵という

和菓子業界の需要を満たすまでにはなっておらず、在庫があったことで何とか間に合っている状況です。

北海道産小豆は平成25年、26年が大豊作で、繰り越し在庫が大幅に積み上がったことなどで、作付面積が減った経緯もありますが、その在庫がなくなる平成30年以降は、平成29年産の作付面積のままでは供給不足になるとみており、和菓子業界としては、平成29年度の20%増となる2万2000haの作付けをお願いしているところです。

また平成34年3月までを経過措置期間とする加工食品の原料原産地表示義務化は、既に施行されている食品表示法への経過措置期間が終わる平成32年3月までに各事業者においての対応が進むと考えられ、これまで使っていなかった業者が北海道産にシフトすることも考えられます。

そうしたことから、供給力の拡大、作付面積の増加は喫緊の課題とされています。北海道産の小豆や豆があることで、和菓子屋は生かされているのです。こんなにも北海道の小豆がほしい、必要だと言っている和菓子屋がいるのだから、われわれも頑張つて小豆を作ろう、そんな意欲が皆さんの中に湧き出してくれることを期待しています。



酪農学園大学 園田教授



講習会の様子

report from 留萌支所

アスパラガス生産性向上に向けた講習会開催

J Aオロロンでは、平成24年に野菜集荷場に選果ラインを設置するなど、アスパラガスを基幹作物として、生産振興に向けた取り組みが行われていました。しかし、近年は低収に悩まされ、生産者の高齢化、パート労働力確保の難しさなどもあり、作付面積維持が課題となっています。

そこで、J Aオロロンとホクレン留萌支所（営農支援室・米麦農産課）は、アスパラガスの生産振興を図るため、管内の生産者を対象に、低収要因の解析など新たな知見も取り入れた「アスパラガス生産技術講習会」を開催しました。

講習会では、留萌農業改良普及センターから、平成23年ころより顕在化してきた低収の改善に向け、平成25年から上川管内で取り組んだ圃場実態調査等の結果が報告されました。土壌が硬く、※りん芽^がの位置が浅い等の低収圃場の特徴を踏まえ、株養成中の培土によるりん芽の適正位置確保の方法や、過収穫や養成中の過繁茂を防ぐため、収穫を最適な時期に打ち切ることが重要なこと等が説明されました。

続いて、酪農学園大学の園田教授

からは、アスパラガス栽培では、株の養成期の管理が最も大切なこと。そのため、地上部の生育量と病害虫を制御し、養分を作る光合成器官を確保すると同時に、土壌の化学性などの改善で養分を貯蔵する根系確保が重要なことが強調されました。そして、近年の斑点病、茎枯病、疫病や害虫等の状況や、対応策が説明されました。

片倉コープアグリ（株）の野口技術顧問からは、地域の土壌の特徴や、土壌健全化が作物の収量・品質向上に重要なこと、物理性や養分バランスの改善方法や留意点などが紹介されました。

参加した生産者からは、「アスパラ栽培のポイントがあらためて理解できた」「今後の糧になるような良い内容だった」などの声が聞かれました。

今後、参加者の意見などを踏まえ、関係機関と連携し、引き続き生産者の生産意欲喚起と収益向上に取り組んでいく予定です。

※りん芽……地下茎の先端部。このりん芽が伸びると地上茎となる。

report from 釧路支所

メドウフォックスティル
抑制に関する取り組み

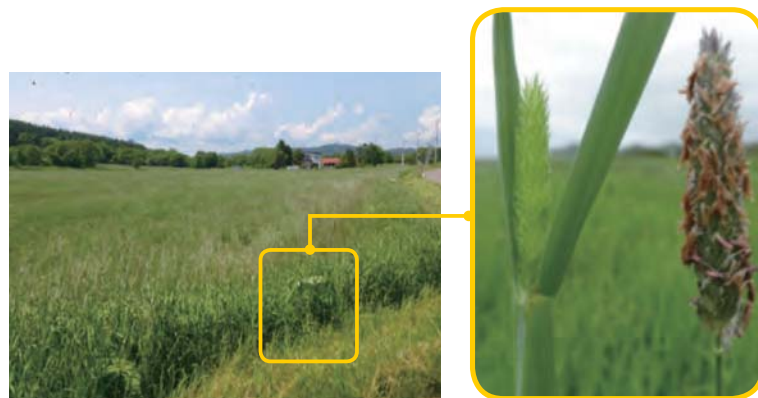
釧路管内の草地で酪農家の皆さんの頭を悩ませている強害雑草「メドウフォックスティル（以下MFT）」の抑制に関する取り組みを紹介します。MFTは戦前、軍用馬の飼料で栽培されたこともありましたが、嗜好性や栄養価の高いチモシー主体草地に変わってきた歴史があります。

釧路市音別地区では、そのMFT抑制に数年前から取り組んでいます。平成28年から、行政機関や農業団体で構成する「Aくしろ丹頂植生改善プロジェクト」を、播種前の処理時（平成29年

7月）に「クサトリキング」を使用しました。播種は「チモシー70%」、「ペレニアルライグラス10%」、「メドーフェスク10%」、「白クローバー10%」とし、ブルードキヤスターで播種を行いました。試験前の植生は牧草25%（チモシー10%・白クローバー5%等）、雑草70%（MFT30%・リードカナリーグラス40%）、裸地5%でしたが、試験実施後はA、Bともに雑草全般が10%以下に抑制され、MFTやリードカナリー

グラスは確認されず、十分な雑草抑制効果を確認することができました。しかし、Bの処理では、前年の除草剤のタイミングが遅れたこともあり、枯れた草の影響で初期生育の段階では、播種した牧草の発芽や生育が充分得られず、課題も残る結果となりました。

関係者は、これまでの試験結果や平成30年春の圃場状況を踏まえ、今後とも植生改善に向けた取り組みを続けていくこととしています。

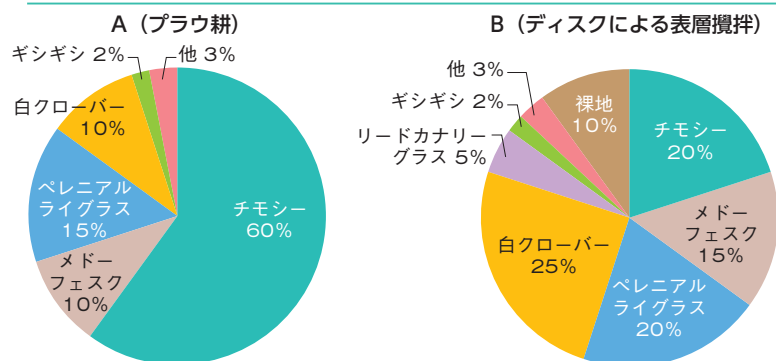


試験実施前（前植生）の圃場（上）とチモシーとメドウフォックスティルの出穂穂（右）。雑草が全体の7割を占めていた。



A：播種後の試験圃場はチモシー主体となり雑草はかなり抑制されている。

実証試験後の植生割合



（平成29年9月22日の調査結果）



パソコン・スマートフォン（スマホ）・タブレットに対応している「Farmnote」は、いつでもどこでも牛群の情報を管理・記録・分析することができるアプリです。

牛の管理業務を劇的に軽減する

ファームノートに注目！

簡単な手順で牛の個体管理ができるアプリ「Farmnote（以下ファームノート）」。

このアプリを開発したファームノートホールディングス（帯広）の小林晋也社長と、実際にアプリを使用して牛の管理をしているホクレン訓子府実証農場の担当者にお話を伺いました。

牛の管理での物忘れを防ぐ

編集 ファームノートとはどのようなアプリですか？開発の経緯などをお聞かせください。

小林 ファームノートは「牛の管理に特化したアプリ」です。北海道では130万頭の牛が飼育されており、十勝だけでも40万頭います。この1頭1頭の管理はとても大変で、生産者はそれぞれ、個体台帳をはじめいろいろな台帳で管理しています。

開発に取り組んだきっかけは、私が経営しているネットシステム構築の（株）スカイアークに2戸の酪農家から「牛に関するデータは紙ばかりで、なんとかならないか」と問い合わせがあったことです。そこですぐに試作品を作り、使ってもらったところ、とても喜んでもらえました。両親の実家が農家で、幼い頃から農業に親しんでいたことや、現状の改善にもつながると思い、2013年に（株）ファームノートを設立しました。

このアプリは、入力が簡単でスマホやタブレットがあれば、牛を見ながら個体情報を確認できます。また、牛の一生をタイムラインで見られる「ストーリー」という画期的な機能もあります。しかし、一番の特長は「物忘れを防ぐ」ということです。



個体ごとの産次別乳量データ等が一目でわかります。



株式会社ファームノートホールディングス
代表取締役 小林 晋也さん（写真右）
帯広生まれ。2004年に企業の業務管理システムを提供する（株）スカイアークを創業。国内トップレベルの導入実績を誇る。2013年、「牧場を、手のひらに」をビジョンに、（株）ファームノートを設立。



ホクレン訓子府実証農場
畜産技術課 国安 岳 主査（写真左）
訓子府実証農場で乳牛の管理や試験を担当。

Farmnote FS A群

メニュー: ファームボード, ノート, カレンダー, Today, 活動履歴, アラート, 出荷履歴, ヘルプ

センサー情報リスト: Color取り付け牛リ..., 活動量増加リスト, 反芻低下疑い牛リスト, (R) Color異常可能性..., 牛群リスト, FS D群, FS A群, FS B群, FS C群, TS バイブ, TS パケット, 育成放牧, TS 試験群, 育成B, 育成A, +さらに8件を表示, 飼育リスト, 分娩状況乳機用

群体番号	産次	持乳日数	Color 反芻率/日齢対比	検定 乳量(kg)	本日 乳量(kg)	前 平均乳量(kg)	最終検付日	授精回数	分娩予定日	検定 体細胞数(千個/ml)	差異 本日と前平均(%)
3106	6	75	1.09	46.6	50.1	34.0	2018-01-06	1	2018-10-13	18	47.5
3393	3	81	1.04	48.7	48.2	31.9	-	0	-	9	51.0
3435	3	169	0.99	54.5	48.1	34.0	2017-09-24	1	2018-07-01	17	41.6
3434	3	93	0.9	50.7	47.9	36.5	-	0	-	11	31.1
3425	3	82	1.12	50.8	47.0	27.3	2017-12-24	1	2018-09-30	10	72.1
3147	5	102	0.98	42.7	45.1	27.9	2017-12-17	2	2018-09-23	11	61.7
3391	3	195	1.07	42.4	44.0	26.4	2018-01-10	4	2018-10-17	40	66.6
3392	3	219	1.05	46.2	42.9	30.2	2017-09-24	1	2018-07-01	45	42.3
3397	3	185	1.02	35.3	42.7	31.8	2017-12-01	3	2018-09-07	2,258	34.3
3355	4	257	1.06	38.4	41.9	26.2	2017-09-07	4	2018-06-14	27	48.6
3349	4	234	1.12	43.4	41.4	24.0	2017-11-12	3	2018-08-19	93	72.6
3332	4	153	1.01	42.5	41.3	30.0	2017-10-09	1	2018-07-16	32	37.7
3352	4	122	1.05	42.5	41.0	32.0	2017-12-07	1	2018-09-13	61	28.1
3123	5	87	1.72	41.9	40.9	30.2	-	0	-	870	35.5
3143	5	182	0.95	40.4	40.6	26.6	2017-10-21	2	2018-07-28	513	52.8
3405	3	196	1.03	42.6	40.4	29.7	2017-11-01	2	2018-09-09	56	36.1
2899	6	117	1.02	28.8	40.2	28.2	2018-01-01	2	2018-10-08	37	42.7
3401	3	110	0.96	38.2	39.9	27.2	2017-12-26	2	2018-10-02	7	46.5
3687	2	211	0.97	39	39.4	22.6	2017-08-18	1	2018-05-25	24	74.1
3431	3	130	0.91	38.3	38.9	29.6	2018-01-09	4	2018-10-16	21	31.4
3168	4	220	1.14	37.7	38.6	27.4	2017-09-23	1	2018-06-30	25	41.7
3431	3	141	0.94	40.6	37.8	26.3	2017-12-12	3	2018-06-18	122	43.7
3431	3	141	0.94	38.5	37.5	26.2	-	2.3	-	158.8	44.3

1 - 40 / 40 件 100 1 ページ表示

個体ごとの乳量・分娩予定日などの条件を指定し、検索できます。

訓子府実証農場でも実証

国安 訓子府実証農場では、現在、乳牛338頭、肉牛160頭を飼育していますが、2016年1月乳牛部門にファームノートを導入しました。導入を決めたのは、台帳で牛を管理するのをパソコンやタブレット上で一括管理できたら便利だと思ったことと、実際に使ってみることで、生産者にアドバイスもできると考えたからです。使ってみるととても良いですね。スタッフ間で情報が共有できるのも大きなメリットです。実際に使っている生産者の評判などはいかがですか？

小林 現在、全国で約2100戸の利用があります。道内では650戸です。興部町の牧場では1100頭の牛の1頭ごとのデータを一括管理し、28人のスタッフ間で情報の共有が可能に。ファームノートを利用するためにわざわざスマホを購入したスタッフもいたそうですよ（笑）。生乳の成分の記録や乳量を管理でき、病気のサインを見逃すことが減り、個体の状態の集約もできています。

国安 当農場でもクラウドに個体の乳量がアップロードされるようになったのが一番良かった。状況や数字がつかめ、安心材料にもなっています。また、データさえ入っていれば、どこにいても自分の農場の状況がわかり、出張先からも電話でスタッフへ指示が



できる点も重宝しています。
小林 また、ファームノートと連携するColor（カラー）という首輪型センサーを牛の首につけるだけで、リアルタイムに牛の活動情報を収集し、活動量・反芻時間・休憩時間を計算。その情報から繁殖で重要な発情、疾病兆候など注意すべき牛を自動的に選別し通知してくれます。特に牛の発情は

21日間隔なので、見逃すと餌代などのロスが出ます。牛は発情すると反芻の回数が減ったり、落ち着きがなくなったりするので、この動きをセンサーが読み取り、サーバーに送り、人工知能が過去のデータと照らし合わせ、発情かどうかを判断してスマホやパソコンに送ります。牧場のどこにいても発情の情報を簡単に入手できるので、見逃



牛の首に取り付けられたColorはリアルタイムに牛の活動情報を収集し、ファームノートにデータが自動的に保存されます。その情報から繁殖で重要な発情、疾病兆候など注意すべき牛を自動的に選別しスマートフォンなどに通知します。データは人工知能が個別に学習し、どんどん精度が高くなります。さらにColorのハードウェアはそのままに、クラウドを活用したバージョンアップにより機能追加が継続して行われます。乳牛・和牛どちらでも利用可能です。



「Farmnote Breed」のスマホ画面
 (発情レベルを表示<オレンジ色の線>)



Colorからの情報で発情兆候が簡単にわかります。
 (ファームノートのPC用モニター画面<抜粋>)



訓子府実証農場では200頭にファームノートとColorを連携させて活用。これまでの目視など経験による管理が客観的になり、見落としが激減しました。



「Farmnote Breed」に関する情報

<https://farmnote.jp/information/20171213-01.html>

しが減り、スタッフの作業効率も上がります。

例えば鹿児島県のある畜産農家は、1100頭の肉牛を飼育していますが、Colorとの併用でメスの発情の管理を行っています。牛の発情が夜中であつてもスマホにメールで届くので、6割だった発見率が9割にまで上がりました。また、通知があつたものだけを確認すれば良いので、スタッフの労力も大幅に減り、他の作業にかかる時間が増えたそうです。

国安 訓子府でも、約200頭にColorを使用しています。それまでは、発情を目視で確認していました。使い始めは半信半疑でしたが（笑）、今はチェック機能として非常に役立っています。特に夜中でも通知が来るので見落としが格段に減りました。

ファームノートを活用することで農業を活性化したい

小林 今回、新たに発表したのは、飼育が1000頭規模以下の生産者向けで、入力を簡素化し繁殖管理に特

化した無償のアプリ「Farmnote Breed」。営農指導などに役立つと思いますよ。

国安 それはとてもいいことです。実はうちのスタッフは50代が多くてファームノートを導入した時に「字が小さくて見づらい」などの意見があつたんです。操作が簡単なら勧めやすいです。私たちも実際に使う中での問題点や要望をどんどんフィードバックしていきたいと思っています。また、当農場ではファームノートの研修会も計画しています。実際に使ってもらうことで裾野が広がり、ICTを取り入れやすくなりますから。

小林 そうなんです！ ICTが広がることでスキルが上がり、農業全体の底上げができる。将来的には牛に関する全てのことを管理できるようにしたい。そうなれば、農業に新しく興味を持つ方が増えたり、人手が足りなくてもカバーできるようになる。そのためにも、ホクレンや農協との連携・協力が重要になってきます。これからよろしくお願いします。

ファームノート導入の効果

- ① 物忘れを防ぎ、いつでも思い出せる
- ② 知りたいと思うときに知ることができる
- ③ スマホとColorで繁殖成績が上がる

※ファームノート導入をご検討される場合などはお近くのJAやホクレン支所にご相談ください。

ねぎの簡易軟白栽培における黒腐菌核病の防除対策

道総研 | 上川農業試験場 | 生産環境グループ 主査 | 新村 昭憲さん

POINT!

- ①黒腐菌核病は低温（15℃以下）で活発に、高温（18℃以上）でおとなしくなります。
- ②防除薬剤はペンチオピラド水和剤 F(20%) の定植後灌注処理が効果的です。



[写真2] 黒腐菌核病の症状（長浜原図）



[写真1] 地上部の症状（生育停滞し、葉先から枯れ込む）

黒腐菌核病とはどんな病気か

ネギの他、タマネギ、ユリ、ニンニク、ラッキョウ、ニラなどに感染し、本州以南では冬作のネギで発生、大きな被害を及ぼしている病害です。北海道では近年ネギで発生が認められていますが、平成5年頃には十勝地方のユリで被害が認められたこともあります。土壌伝染する病害ですが低温を好み、春早くから栽培が始まるハウス軟白ネギで被害が認められています。症状は土に触れている部分（根や葉鞘）が腐敗し、生育は停滞、葉先から枯れ込みます【写真1】。やがて表面には黒色球状の菌核が多数生じるため、黒腐菌核病と呼ばれます【写真2】。

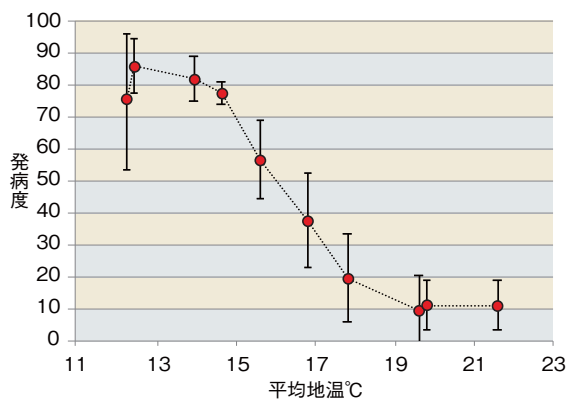
低温が発病を助長

ハウス簡易軟白ネギの栽培では春作は3月（一部は2月）頃から定植が始まりますが、本病の被害は4月定植作型までで、5月以降の定植では被害はほとんど認められていません。その理由は、温度によって発病程度が大きく変わるからです。【図1】に示すように発病は地温が低いほど激しくなり、18℃～20℃以上では明らかに症状が軽くなります。

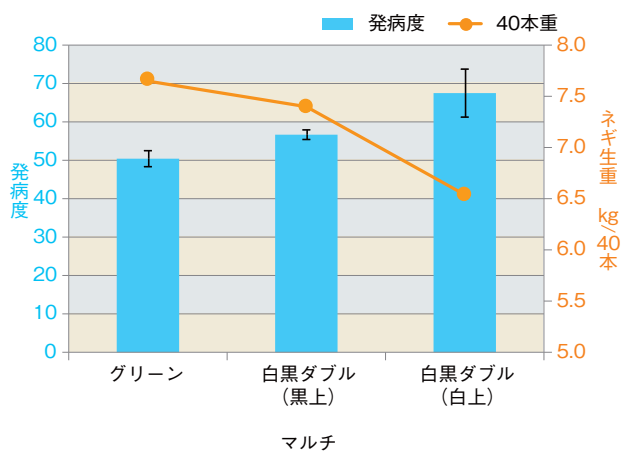
このことから、防除対策として地温を上昇させることが重要となります。

新村 昭憲さんプロフィール

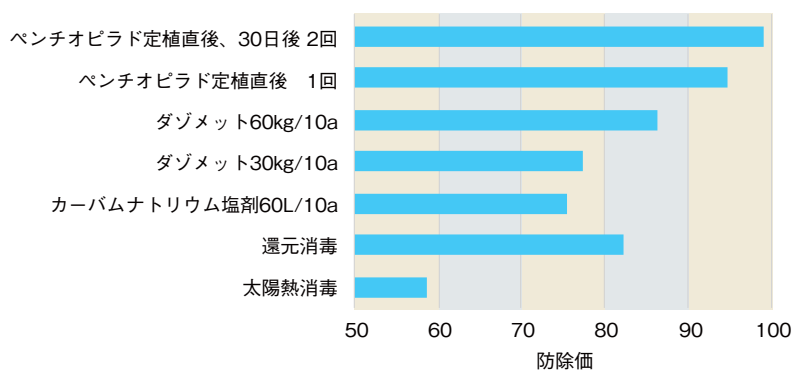
平成 2 年帯広畜産大学卒業。製薬メーカー、種苗管理センター勤務の後、平成 6 年から道南農業試験場、中央農業試験場を経て平成 24 年から上川農業試験場勤務。各種作物の病害を担当。



【図 1】地温と発病の関係



【図 2】マルチ資材による発病と収量への影響
(4月の平均地温: グリーン18.3°C、黒上17.8°C、白上14.5°C)



【図 3】黒腐菌核病に対する灌注処理および各種土壌消毒の効果

防除薬剤

黒腐菌核病は土壌病害であるため、発生地では土壌消毒を実施する場合、それには地温を上げる効果が高いマルチ資材を選ぶことが有効です。【図 2】は4月7日に定植したネギで、白黒ダブルマルチ（白面を上あるいは下）とグリーンマルチを比較したときの結果ですが、地温が上がるグリーンマルチを利用することで発病が低減、生育量も増加することがわかります。黒腐菌核病発生地では、地温の低い4月上旬定植までの作型ではグリーンマルチ等の地温上昇効果の高いマルチの利用をおすすめします。

が多いのですが、本病は土壌消毒の効果を得られにくい病害です。一方、近年、本病に優れた効果を示す灌注剤が利用できるようになりました。これらの薬剤を比較した結果が【図 3】です。

ベンチオピラド水和剤 F（商品名…アフェットフロアブル）の効果が極めて高いことがわかります。本剤の処理法は土壌灌注となるため、定植後にマルチの植え穴に向けて灌注を行います。定植直後から15日目までは高い効果が得られ、定植直後と30日後の2回灌注でより高い効果があります。以上の対策をまとめると、黒腐菌核病の発生圃では低温期（春期では4月以前）に定植をできるだけ避け

る。避けられない場合は①グリーンマルチなど地温を上昇させる効果の高いマルチ資材を利用する。②定植直後、定植15日目までにベンチオピラド水和剤 F（20%）の1L/m²株元灌注を行う（定植直後+30日後の2回処理でより効果が高い）。③これらの対策でも十分な効果が得られない場合は栽培後に土壌消毒で最も効果の高かったダゾメット（商品名…バスマミド）60kg/10a による土壌消毒を併用します。



たまねぎ用育苗培土“オニオンエースPアップ” かん水管理のポイント

ホクレン | 肥料農薬部 | 技術普及課

POINT!

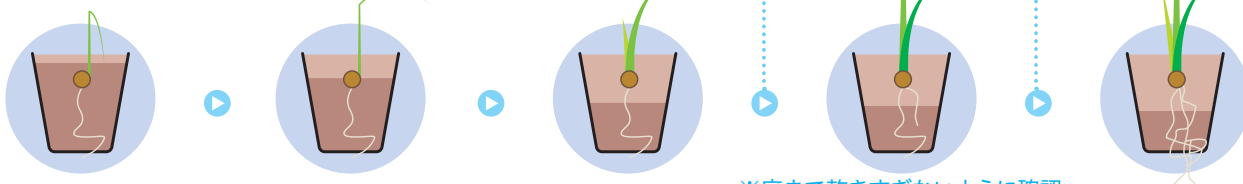
- ① 移植前の**ハードニング**は必ず**2回**行ってください。
- ② 移植直前の最終かん水は**1枚あたり0.7ℓ**を上限に行ってください。

STEP 1 は種～発芽

かん水装置	かん水量 (ℓ / 枚)	注意点
シャトル、モノレール、らくらく散水等	1.0 ~ 1.3	● 1往復でかん水 ● 置床の水はけが悪い場合、1.0ℓ / 枚
手かん水		● 霧状になるノズルでかん水 ● 片道で十分にかん水し、帰りは手直し程度
スプリンクラー、ハンガースプレー等		● 発芽不良が発生しやすいので、初回かん水では使用しないでください

STEP 2 発芽～生育2葉目

- ① 子葉の先が抜けるまで
● 覆土が乾かないようにかん水する
● ほぼ毎日0.5ℓ / 枚
- ② 子葉の先が抜けてから
● 覆土が乾いてから、ポット内が十分濡れるようにかん水する
● 2日に1回0.5 ~ 0.7ℓ / 枚
※時々濡れ具合を確認
- ③ 1葉目～1.5葉目
● 培土がある程度乾いたら十分にかん水する
● 3日に1回1ℓ / 枚
- ④ 1.5葉目～2葉目
● 徐々にかん水間隔を空ける
● 5～7日に1回1ℓ / 枚



※底まで乾きすぎないように確認

かん水のポイント

Step 1 は種～発芽

トレイが置床に密着するように設置し、霧状になるノズルでかん水します。**初回かん水が多すぎると発芽不良が発生することがありますので、かん水量を守ってください。**

発芽が揃うまではシルバーで被覆し、発芽が揃ったらシルバーを除去して、ポット内を十分に濡らします(0.5ℓ / 枚)。

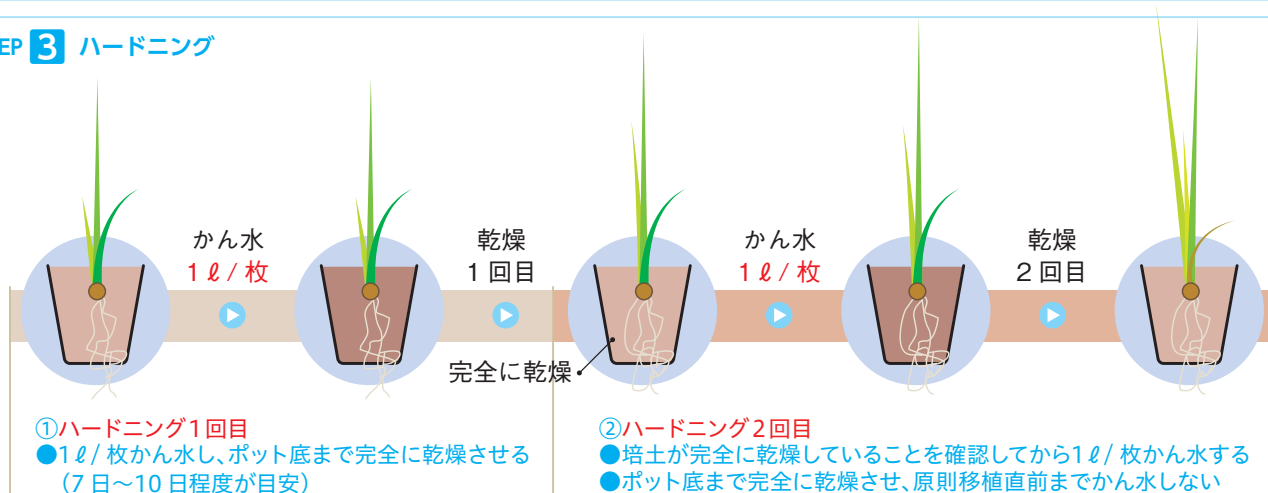
Step 2 発芽～生育2葉目

苗の生育に合わせて徐々にかん水間隔を空け、かん水と乾燥を繰り返すことで、固化剤が培土を固めブロックを強くします。(強く乾燥しすぎると苗の生育に影響するので注意してください。)

Step 3 ハードニング

移植予定日からさかのぼって計画を

STEP 3 ハードニング



STEP 4 移植直前の最終かん水



立て、培土の完全乾燥（ハードニング）を必ず2回行います。ハードニングが1回だけでは、ブロックが弱くなるおそれがあります。

同じハウスでも、場所によって乾燥状態が異なるため、ハウスの数箇所ブロックの乾燥状態を確認してください。

Step 4 移植直前の最終かん水

最終かん水は1枚あたり0.7ℓを上限におこなってください。かん水量が多いとブロックが弱くなり移植に適しません。

オニオンエースPアップ 使用上の注意

①オニオンエースPアップは高濃度のリン酸を含むため、発芽および途中の生育が従来の培土より遅れる場合がありますが、移植までには回復します。

②オニオンエースPアップは従来の培土よりもブロック強度が弱い傾向があります。移植前のブロック確認や、移植機の試運転を実施してください。

オニオンエースPアップを使用した育苗に関しては、J・A・ホクレン・製造メーカー（片倉コープアグリ）で十分なフロー体制を心がけています。ご不明な点などご相談ください。



小型から大型まで4台所有するトラクターのうち、73馬力のトラクターがモニターの条件と一致しました。



新篠津村
三上 雄平さん

新篠津村で農業を営む3代目、自身は就農6年。計21haの圃場を所有し、水稻とタマネギ、野菜などを生産しています。両親、姉と共に、従業員を雇用して営農。今回モニターとしてダンロップのタイヤを試用しました。

ホクレンでは住友ゴム工業株式会社（以下、住友ゴム）と連携し、質が高くこれまでより安価なトラクター用タイヤの取り扱いを始めています。2017年度、その普及に向けJA新しのつの組合員三上雄平さんにモニターとして実際に使用してもらいました。

タイヤでこんなに変わるとは思わなかった

Tire

JA 新しのつ
ホクレン農機燃料自動車部

「ダンロップ」トラクター用
タイヤ モニター報告



圃場の移動で一般道进行することも多い北海道の農業用車両には、このタイヤの安定性は強い味方になりそうです。

じていた三上さん。ダンロップのタイヤを使ってみてまず驚いたのは、一般道を行行している時の安定性でした。飛び地の圃場が多い三上さんは、畑から畑への移動も多く、時には一日中トラクターで移動するような日もあり、その差を大きく感じたと言います。「揺れが少なく、安定しているのでスムーズに走れます。長距離運転しても疲れが少なく、作業も効率化されました」

また、タイヤの泥落ちの良さ、牽引力の強さも感じました。春から冬にかけて使用しましたが、磨耗は感じられないと言います。

「正直、タイヤでこんなに変わるとは思いませんでした。良さを実感できたので、今度購入する時もこのタイヤにしようと思います。仲間にもすすめていすね」

サイズ	PR	発売時期
8.3-20	6	発売済
9.5-18		
9.5-22		
9.5-24		
13.9-36		
11.2-24		2018 年 3 月発売予定
13.6-38		2018 年 4 月発売予定
12.4-36		2018 年 5 月発売予定
12.4-32		2018 年 5 月発売予定
12.4-38		2018 年下期発売予定

ダンロップ

AR50 SUPERLUG NS-1

トラクタ用前後輪タイヤ

- 後輪及び4輪駆動の前輪用。
- 畑地で優れたけん引力を発揮する。

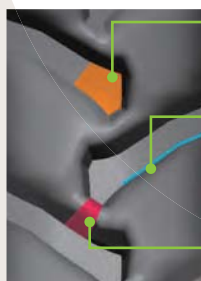
タイヤの形状は、けん引力と排土性のバランスに優れたラグパターン形状（突起の形）を採用。タイヤセンター部やサイドも補強し耐摩耗性を実現しています。

18 年以降サイズ拡大予定



AR50 の特徴

- 損傷を受けやすいパットレス部（タイヤの肩のところ）をガードリブで補強



- 接地圧が高いタイヤセンター部のラグのポリウムを大きくし、耐摩耗性を向上
- けん引力と排土性のバランスに優れた 2 段折れラグパターン形状を採用
- タイヤセンター部は、排土性を考慮したラグ形状・間隔を採用

大型トラクター用を新たに展開 安心の国内メーカータイヤを

北海道で主流の100馬力級の大型トラクターに使用するタイヤは、国産ブランド品もありましたが、価格面から安価な輸入品を選択する生産者が増えていました。

そこで、住友ゴムはタイに工場を新設し、これまでのファルケンブランドに加え、ダンロップブランドで農業用トラクターのタイヤの本格展開を始めました。従来は府県向けの小型から中型のトラクターに対応するタイヤが主でしたが、これを機に70馬力から100馬力のトラクターに対応できるタイヤを展開することになったのです。サイズも10種類に増やし、次年度以降もホクレンとの協力でモニターの実施を検討しているといいます。「国内メーカータイヤの良さを感じていただき、北海道の農家さんに貢献できるように展開していきたいです」と住友ゴム産業タイヤ部の佐野諒さんは話してくれました。

モニター利用で大きな手応え サイズ展開の拡大にも期待

JA新しのつ機械センターでは、組合員の農業機械に関するサポートや販売業務を行っています。組合員は「農業機械のことは機械センターに聞けばよい」と信頼を寄せています。



JA新しのつ
機械センター 推進係
主任
吉田 晃さん



住友ゴム工業株式会社
産業タイヤ部
営業グループ
佐野 諒さん

ホクレンからダンロップタイヤのモニターの話を聞き、機械センター推進係主任の吉田晃さんは「組合員に国内メーカーのタイヤを安価で供給できるようにするのなら」という思いで手を挙げました。以前は、価格面から輸入品のタイヤをすすめていた時もありましたが、装着当初は遜色なく使用できても、1年、2年と使用するうちに揺れやスリップが多くなってくることから、「やはり多少価格は張っても、良質なタイヤを」と考えていました。今回、モニターを通して性能的にも価格的にも、組合員に自信を持つてすすめられると確信した吉田さん。サイズのラインアップが増え、さらに利用しやすくなることに期待を寄せています。



北海道の農作業着ブランド「モンクワ」(左から6人)と「び・ふらねっと」(右から6人)をそれぞれ着用して紹介。

Fashion

「もっと楽しく農業をしたい！」女性たちの本音に応える本誌第7号《農業×ファッション特集》は編集部も驚くほどの大反響をいただきました。そこで今回も農作業着ファッションショーに密着、関係者にお話をうかがいました。

サイズ重視から「私らしさ」へ アグリファッション最前線

2017年12月8日、旭川グランドホテルで開催された農作業着ファッションショーは、JA上川地区女性協議会研修大会の一部として企画され、ホクレン生活部が協力したもの。同協議会辰巳明美会長が旭川で企画・デザインを行っている「モンクワ」の展示会を見て「女性部員の皆さんに着ていただきたい」と考えたことから始まりました。

「女性にとって農作業着は、よし、行くぞという仕事スィッチが入る制服のようなものですが、同時に畑の中で、私はここにいますよ！と自分の存在をアピールする大事なツール。ただサイズが合えばいいのではなく、本当はもっと納得して買えるものがあれば、と誰もが内心思っていたはず。今回ショーにご協力いただいた『モンクワ』さんや美瑛・富良野の『び・ふらねっと』さんのような、私たちのことを真剣に考えてくださるブランドは本当に心強い味方です」と、農業で働く女性たち

JA 上川地区女性協議会 ホクレン生活部

最新！農作業着 ファッションショーが大好評



JA 上川地区女性協議会
フレッシュミズ部会
部会長 中田 美佐さん
「会場の拍手が温かくて
ホッとしました」



JA 上川地区女性協議会
会長 辰巳 明美さん
「こんな素敵なショーに
なって皆さんに感謝です」





interview
生産者の声を
反映した一着に
「モンクワ(monkuwa)」
株式会社大志企画
デザイナー
新田 翠さん

「モンクワ」の洋服づくりではたくさんの生産者さんのお声を聞かせていただいています。生産者さんと一口に言っても米や畑、酪農、果樹園などの現場によってニーズはさまざま。胸ポケット一つとっても「いる」「いらない」が分かれ、そこをどう商品化していくかが課題です。北海道の冬場はハウスの中が温かくてもハウスに行くまでが寒いなどのギャップがあるため、脱ぎ着のしやすいものを考えました。日本人に合うナチュラルな中間色も好評をいただいています。



モデルは全女性部のメンバー。親子モデルも登場し、会場の空気がほっこり和らぎました。

の気持ちを代弁してくれました。

人気のサロペットは着心地抜群 子どものお迎えや買い出しにも

ショーのモデルは実際に農作業をしている女性部員たち。辰巳会長から声をかけられたフレッシュユミズ部会長中田美佐さんもその1人でした。

「私たちがモデルなんて！と初めは驚きましたが、モンクワの新田さんが歩き方や表情までの確に指導してくださったので、なんとか終えることができました。私が着せていただいたモンクワのサロペット（写真A）は、ポケットの位置も角度も深さも理想的。スマホやティッシュが落ちる心配がないので、これから畑でスマホを探すこともなくなりそう（笑）。しかもノースリーブなのでしゃがんだときに肩が引つ張られる違和感もなく、太腿まわりがゆったりしていて着心地抜群です」

機能性に加え脱ぎ着もラクで、子どものお迎えや買い出しなど「ちよっとそこまで」にも行けるおしゃれ作業着が次々とステージに出てくると、見ている皆さんの表情も輝きが増すばかり。「あの色いいね」「あったかそうだね」と弾む声飛び交い、デザイナーやモデルたちを大きな拍手でねぎらったあとの試着会も大好評！「私らしく」働ける農作業着は、働く女性のモチベーションアップの必需品。ニーズの高さを再確認するショーとなりました。



今回ご紹介した「モンクワ」ブランドの作業着は、JAの個別宅配カタログ「ジョイライフ」に掲載されています。



会場では試着会も行われ、熱気に包まれました。

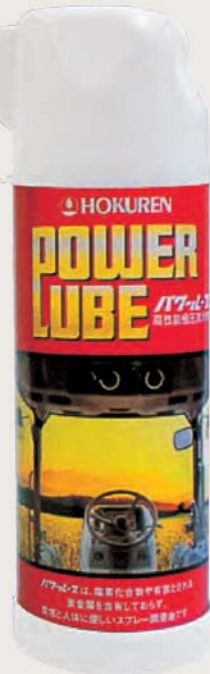


潤滑剤・スプレー類

1位

防滑潤滑油 パワールーブ
●ホクレン ●内容量：420ml

潤滑剤として必要な、潤滑性、浸透性、そして防さび性のバランスも良く、メンテナンス作業には絶対欠かせない定番商品です。



2位

チェーンオイルスプレー

●ニチモリ ●生分解性
●内容量：420ml

チェーン潤滑に必要な付着性と潤滑性を持っています。細部にすばやく浸透し、優れた潤滑性を発揮します。



3位

グリーススプレー

●ニチモリ ●生分解性
●内容量：420ml

耐熱性・耐水性に優れ、流れ落ちずに狭い箇所や部分的な給油ができます。

G

oods

ホクレン 札幌農機総合部品センター

役に立つ点検整備グッズや小農具
人気ランキング・ベスト3



ホクレン
札幌農機総合部品センター
山本 祐司さん

春作業本番を前に、農業機械の点検整備をされる方も多いと思います。

ホクレン2017春の農機部品と小農具の取りまとめカタログから、そんな時に欠かせないグッズと、今年の防除に備えた動力噴霧機の売れ筋ランキングをまとめてみました。

潤滑剤・スプレー類では、なんといってもホクレンオリジナルの防滑潤滑油「パワールーブ」が毎年、断トツでトップ。皆さんから熱いご支持をいただいている定番商品です。

メンテナンスに欠かせないツールセットも根強い人気です。「TONEのツールセット22-HK」は、農業機械のメンテに必要なソケットやレンチ

のサイズを揃えた、農家のためのツールセットです。

動力噴霧機は、軽くて静かなバッテリータイプが上位にランクイン。中でも「押しは、バッテリー動噴」「スーパースキりひめ」。メーカーとJAGグループが共同企画した、女性でもラクラクの軽量性とカンタン操作が魅力の動力噴霧機です。発売開始は2017年ですが、ご好評をいただき売れ行きトップの人気です。

さらに、女性応援商品として、これもメーカーとJAGグループが連携し、使い勝手など工夫した肩掛式刈払機（丸山MB228P-JA）が3月に登場します。どうぞお楽しみに。

動力噴霧機



1位

バッテリー動噴
丸山 LSB100Li-JA
スーパーきりひめ PEACH

- 重量：2.7kg
- 薬液タンク容量：10L
- 連続作業時間：最大 120 分
- 標準充電時間：50 分
- 最大給水量：0.8L
- 最大圧力：0.3Mpa

軽くて、操作も簡単、女性も扱いやすい動力噴霧器です。JA グループ限定で、スマートフォンも入る携帯ポーチやカバー付除草ノズルも付いています。さらにバッテリーも 2本、標準で装備されているので安心です。

2位

バッテリー動噴
共立 SBL104

- 重量：3.2kg
- 薬液タンク容量：10L
- 連続作業時間：約 110 分
- ポンプ給水量：1.3L/min
- ポンプ圧力：～ 0.3Mpa



3位

背負動力噴霧機
共立 (GOGO 商品)
SHRE175G

- 重量：6.3kg
- 薬液タンク容量：17L
- i スタート
- ポンプ形式：カスケードポンプ
- 圧力：0.1 ～ 1.0MPa



おすすめ
商品情報

JA グループ限定の
機能がうれしい新商品

肩掛式刈払機

丸山 MB228P-JA

- 重量：3.9kg
- 排気量：20.9cc

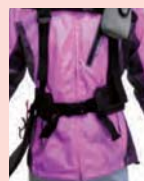
3月以降販売予定

工具なしで取り外せるエアクリーナーカバー



高速調整付キャブレター（ハイニードル仕様）で長期間エンジンのパフォーマンスを維持します。

- 両肩タイプの背負いバンド標準付属。
- エンジン始動を楽にするマジカルスタート採用。



重量は 3.9kg（予定）と軽く、軽い引き力で女性でも楽に始動できるマジカルスタートを採用。両肩ベルトと腰バンドで肩への負担を大幅に軽減しています。JA グループ限定で、工具なしで取り外せるエアクリーナーや、長期間エンジンパフォーマンスを維持する高速調整付キャブレターも付いています。

ツールセット



1位

TONE 22-HK

- 差込角：12.7mm
- 40 点

農業機械の点検整備に必要なソケットやコンビネーションレンチのサイズを充実、農家の皆さんに役立つ商品です。それぞれの工具が決まった場所にきちんと収まるようになっているので、便利です。

2位

TONE 700SX

- 差込角：12.7mm
- 46 点



3位

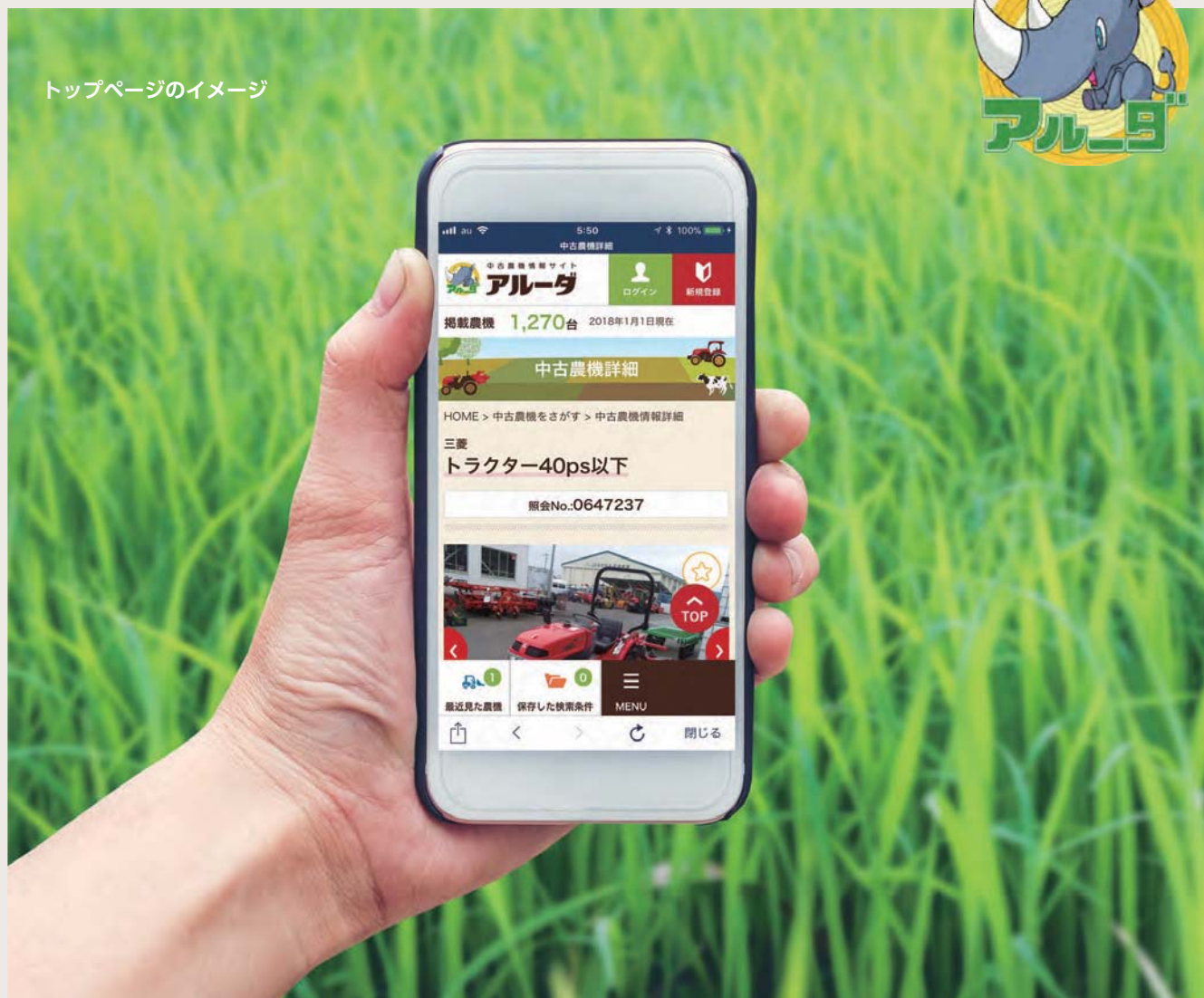
KTC SK45218W

- 差込角：12.7mm
- 52 点





トップページのイメージ



Web

※掲載している情報はイメージです。

ホクレン 農機燃料自動車部

中古農機インターネット情報「アルーダ」リニューアル

中古農機インターネット情報「アルーダ」が2月中旬(予定)リニューアルします

多くの方にご利用いただいている「アルーダ」が、より使いやすく・見やすくなります。ぜひご利用ください。

ここが変わります

① パソコンはもちろん、スマートフォンでも見やすい画面になります。

※多機能携帯(ガラケー)ではお使用いただけません。

② 検索方法が増えます。

フリーワードや展示場、機種ことなど。

③ 検索結果は写真が付いて見やすくなります。

④ 掲載写真枚数が増えます(登録状況により増減)。

⑤ マイページ登録すると、さらに便利にご利用いただけます。

気になる中古農機をお気に入り登録したり、最近見た農機や検索した条件もワンクリックで呼び出せます。また、買いたい情報を登録すると出展された時にメールでお知らせします(販売済の場合はご容赦願います)。

詳しくは、「アルーダ」ホームページの「ご利用マニュアル」をご覧ください。

前号の読者アンケートでは皆さんからたくさんの声が寄せられました。このページでは毎号「読者の声」として掲載いたします。

表紙

■ 今号もとても読みごたえがあって良かった! 次号も楽しみにしています。写真募集だけでなく、絵の投稿も募集してほしい! 表紙のモデルさん毎号かわいくて良いですネ♡笑顔に癒されています!ズート続けてほしいなあー。

(富良野市・女性)

■ 表紙モデルさんのファッション、いつも楽しみにしています (アイテムはいつもどこでそろえているのですか?)。農業パートのページも、自分には一見関係なさそうでしたが、読んでみたら夫婦・親とのコミュニケーションにも役立ちそうと思いました。

(湧別町・女性)

あの人の VIEW POINT

■ 「あの人のVIEWPOINT」の青山さんの畑はとてもステキだなーと思ってました。苦労されたと思いますが、仕事に一息ついて顔を上げたらあの景色があるってうらやましいです。

(安平町・女性)

特集「パートさんと共に」

■ 今月号の「パートさんと共に」に対してパートの特集が非常に興味深かった。働く人の立場など考えながら雇用を考えていたところなので勉強になりました。

(当別町・男性)

■ すごく見やすい誌面で、就農2年目の私でもわかりやすいです。今回は特にパートさん側の本音が載っていてとても参考になりました。私たち生産者は、毎日行っている作業だとパートさんにも「わかるでしょ?」となっているところ、あるのではないかなと思いました。P21の土づくりのページ、分かりやすく読みごたえがありました。次号以降も楽しみにしています。

(千歳市・女性)

■ 農業関係で働くパートさんは今の時代、とてもありがたい存在だと思います。その中でいきいきと働く姿がとてもうれしい限りです。北海道の農業者はパートさんの方々にとても助けられているし重要な存在だと思っています。

(新冠町・女性)

■ 農業パートが考える座談会は、雇用主の立場から働き手の立場になってそこから全て始まると勉強になりました。

(士別市・男性)

■ パートさん特集はとても参考になりました。長く働いてもらうために環境整備や話し合いの必要性が分かって良かったです。

(倶知安町・女性)

■ 毎号楽しく読んでいます。パートさんとのコミュニケーションは得意なほうだと思っていますが、年々知っているパートさんがいなくなるのがショックでした。1年目、2年目、3年目と慣れればどんどん仕事が上達しますが、歳もかさねてしまう…。難しい問題ですね。

(江別市・女性)

■ 労働力不足の今日、パートさんの時間帯労働に目をつけたのはとても良いと思います。働き方の見直しですね。

(函館市・女性)

ホクレンマーケット通信

■ 生産者ではないので、農業について大変勉強になります。今日は偶然にも「ハルユタカ」と「春よ恋」を使った食パンをいただきました。味わいは違うけれどどちらもおいしいパンでした。これからも楽しみに拝見させていただきます。

(札幌市・女性)

品種・技術 ここがポイント!

■ いちご「ゆきララ」おいしそうですね。よく聞く名前となってデビューしてほしいですね。

(旭川市・女性)

情報クリップ

■ 当JAの水稲豆つぶ剤普及への取り組みが記事になりました。身近なところで新たな取り組みがされていることがこの記事を通してわかり目からウロコでした。このようにアグリポートでのいろいろな取り組みや情報を皆で共有することで今後の農業の発展につながることを期待しています。

(新十津川町・女性)

Voice 読者の皆さんからの声

■ 「Voice 読者の皆さんからの声」が好きですね。いろいろな地方の方の声が聞けます。この本も姉が見せてくれます。

(小平町・女性)

■ いろいろなジャンルの営農スタイルがあり面白いと思ってみっていますがVoiceの投稿がより様子がわかり参考になります。

(別海町・女性)

その他

■ 小規模経営の農家でも後継者を育て、2世代3世代で農業を続けている。家族労働で立派に営農し良質な作物を出荷している農業経営主さんの家族の考え、取り組み、工夫している点などもとりあげてほしいです。

(芽室町・女性)

■ 農業高校のいろいろな活動について知りたい。ちなみに美幌高校ではトマトのGAP認証を取りました。

(大空町・男性)

■ 読者同士が交流できるようなコーナーがほしい。エンタメ情報。

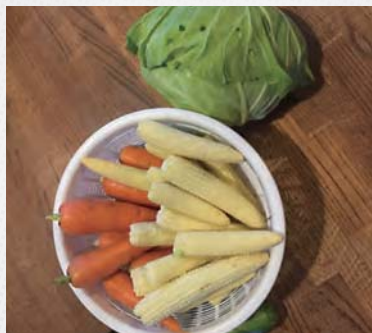
(当別町・女性)

第10号で募集した春に向けてのアンケート結果は次号掲載予定です。



お義母さんの誕生日に
ルバーブを使ってケーキを焼きました。

●一言メモ……ヨーロッパ生まれの野菜「ルバーブ」。葉の部分は有毒で食べられませんが、赤色の茎部分を食べるとセロリのようなシャキッとした食感で強烈な酸味が特徴です。腸の働きを良くする働きがあり、ジャムやパイなどお菓子に使われています。



初めて今年栽培した
自然栽培で収穫した野菜です。



日常をパシャッ!

**アグリ
フォト**

Agri Photo

読者の皆さんから
お寄せいただいた
写真をご紹介します。

◎ 収穫したルバーブでケーキづくり

少しですがルバーブを作っています。ケーキにいれて焼いたりジャムを作ったりしています。写真はバターケーキ。いろいろなバリエーションが楽しめるので重宝しているレシピです。

(栗山町 20 代女性・畑作園芸)

とてもかわいいケーキですね!ルバーブのきれいな赤色がのぞいているのもステキです。ルバーブのバターケーキ食べてみたいです♪(編)

◎ 初めて栽培しました

牛の堆肥をつかって育ててみました!特ににんじんとスイートコーン(小さくてヤングコーンみたいですが…笑)、とても甘かったです!

(浜中町 40 代女性・酪畜)

愛情いっぱい育てられたのが伝わってきます♪牛の堆肥を使用されたそうで酪農家さんならではのですね!今年の栽培、応援しています♪(編)

あなたの 1 枚でみんなを笑顔にしてください

趣味、活動、料理、ペットなどあなたのスキ♡を写真投稿してみませんか?イラストも大歓迎です♪採用された方には粗品を進呈します。ぜひお気軽にお寄せください。お待ちしております!

●応募方法

スマートフォン・パソコンでプレゼントご応募ページにアクセスすると写真投稿欄がありますので、そこから投稿できます。

<https://jp.surveymonkey.com/r/LQ9V5WC>



読者モニターアグリポーター大募集

あなたも誌面づくりにご参加ください。



アグリポート編集部では読者モニター「アグリポーター」を募集します。

アグリポートでは、営農情報誌として皆さんにもっと役に立つ情報をお届けできるように、読者の「声」を必要としています。ご協力いただくのはアグリポート誌面を読んだ感想について。モニターとなっていた方には謝礼もご用意しています。皆さんのご応募をお待ちしています!

●モニター期間:1 年間

●応募方法:スマートフォン・パソコンまたは裏面にある読者アンケートのモニター応募欄にチェックをしてご応募ください。ご応募いただいた方には編集部より改めて詳細をご連絡させていただきます。

農業なんでも川柳

日々の農作業や暮らしのことを川柳にして「農業なんでも川柳」にお寄せください。作品が紹介された方には粗品を進呈します。

豆出荷無事に終わって冬休み

(当別町・女性)

お疲れ様でした。ゆつくりと体を休めてくださいね。

(編)

クリスマス雪の中から野菜掘り

(豊富町・男性)

甘くておいしい野菜が、プレゼントのようで素敵ですね。

(編)

子牛たちベスト着こんでモウ元気!

(雄武町・女性)

ギョウギョウ着込みすぎには注意……!

(編)

週三日医者^{はしこ}を梯子の農閑期

(由仁町・男性)

春にそなえて、体調万全にしてくださいね。

(編)

好きな曲聴いて収穫楽しいな

(剣淵町・女性)

何の曲を聴かれているのか気になります……!

(編)

春ドラをやつと観れる冬がきた

(壮瞥町・女性)

ようやく観られるドラマ、楽しんでください!

(編)

忘れ物取りに戻って別作業

(石狩市・男性)

今度は作業のことをうっかり……。あるあるです。

(編)

おやつ代支払う嬉しさ孫就農

(千歳市・女性)

嬉しい気持ちとお孫さんへの愛情が伝わります。

(編)

「農業なんでも川柳」は裏表紙の応募 FAX、またはインターネットでご応募できます。お気軽にお寄せください。

present

読者プレゼント 応募締め切り：2018年3月31日（土）

アンケートにお答えいただいた方に抽選でプレゼントを差し上げます。裏表紙の記入欄に必要事項をご記入の上、FAXまたはパソコン・スマートフォンでお送りください。※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



A. 道産小麦の香りセット10名様

[JA きたみらい] 麦まるごとうどん250g×2
 麦まるごとうどん全粒粉入り250g×1
 [JA めむろ] 北のゆめパスタ/北のゆめパスタ石臼引きブレンド各200g×1
 [JA びらとり] ニシパの恋人ミートソース145g×2
 [JA 道央] スモークサーモンのクリームパスタソース140g×1
 かぼちゃのカルボナーラパスタソース 160g×1

北海道産小麦の魅力をいろいろな形で楽しめる、道内各JAのうどん・パスタ・パスタソースの詰め合わせです。

B. 表紙コーディネート作業着

M・Lサイズ 合計3名様



表紙で使用された作業着の手ぬぐい、セーター、エプロンのコーディネートセットをプレゼントいたします。サイズは女性用M・Lとなります。応募用紙または応募フォームにご希望のサイズをご記入ください。



3日で
ドローン
パイロットに
なろう

3日間の受講で農業散布ドローンの認定証を取得可能

ドローンによる農業散布には認定証の取得が必要です（農林水産航空協会 指導指針）。平成29年よりホクレンと産業用ドローンメーカー エンルート社が提携、農業散布用ドローンのアカデミーをホクレン長沼研究農場で開設しています。

ドローンパイロットとなり、農作業の効率化を実現しましょう!!



●お問い合わせ先 **enRoute 札幌支店**
 TEL.011-802-6570 FAX.011-802-6579

お問い合わせはこちら https://enroute1.com/contact_us/
 Mail: sapporobranh@enroute.co.jp

●編集部より

編集部では、さまざまなご意見、ご要望、厳しいご指摘も含め誌面に反映させていきたいと思ひます。ぜひ、あなたのご意見をお聞かせください。

From Editor's Room **編集部より**

今冬は道内の根雪の始まりが記録的に早く、各地で例年より1〜2週間早く冬を迎えました。わが家でも土が入ったままの庭の植木鉢が凍って雪に埋もれてしまい、後かたづけに苦勞しました。早めの備えが大切ですね。この寒さの原因は「フニーニャ現象」が発生したことに関係するといわれ、春先まで続く可能性が高いとのこと。この先の天候に影響しないよう願いたいところです。

今号では今年から制度が変わる米について特集を組みました。これまでの制度を振り返り、米政策の変遷と今後の変更にについて、分かりやすくまとめています。今回の制度の変更が、農地をどう維持していくか、広く北海道の農業の将来に関わる問題として、稲作以外の生産者の方にも興味をもつて読んでいただければと思います。

また、「読者の声」では、皆さんの声を文字以外の形で伝える試みとして、投稿写真の募集を始めました。毎号募集しますので、多くの皆さまから楽しい画像をお待ちしています。

(H.H)

ホクレンアグリポートVol.11
 編集 ホクレン農業協同組合連合会

農業総合研究所 営農支援センター
 営農支援推進課内アグリポート編集部

読者アンケートのお願い **皆さんのお役に立つ誌面づくりのために、ぜひあなたの声をお寄せください。**

※お送りいただいたご意見は「Voice 読者の皆さんからの声」コーナーに掲載させていただく他、誌面づくりに反映させていただきます。

プレゼントのご応募・ご意見はFAX かパソコン・スマートフォンで 応募締め切り：2018年3月31日（土）

※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

FAX ご応募先

011-742-9202

パソコン・スマートフォンご応募先

<https://jp.surveymonkey.com/r/LQ9V5WC>

ご応募は
こちらから



[プレゼント応募記入欄] 下記の内容をご記入ください。

お名前

性別：男・女 年齢 歳

ご住所

〒 -

お電話番号

ご職業

1. 生産者 2. 系統職員 3. その他 ()

ご職業で「生産者」とお答えの方の営農形態は？

※該当するもの全てに○をつけてください。

1. 稲作 2. 畑作 3. 園芸 4. 酪畜
5. その他 ()

ご希望のプレゼント ※A・Bいずれかに○印をご記入ください

A 道産小麦の香りセット

B 表紙コーディネート作業着 希望サイズ (M・L)

[アンケート回答書] 下記の質問にお答えください。

Q1. 誌面の中で興味深かった記事はどれですか？ ※複数回答可

- ☐ 0. 表紙
- ☐ 1. あの人のVIEW POINT
- 特集 米づくりの行方
 - ☐ 2. 米政策はどのように変わる？
 - ☐ 3. 消費者や市場に求められる米とは？
 - ☐ 4. 生産現場で備えはどうする？
 - ☐ 5. 低コスト・省力化の最新情報を教えてください
- ☐ 6. ホクレンマーケット通信
 - 堅調な需要で増産が求められる道産小豆
- みんなの取り組み広場
 - ☐ 7. アスパラガス生産性向上に向けた講習会開催
 - ☐ 8. メドウフォックスティル抑制に関する取り組み
- ☐ 9. ファームノートに注目！
- 品種・技術ここがポイント！
 - ☐ 10. ねぎの簡易軟白栽培における黒腐菌核病の防除対策
 - ☐ 11. たまねぎ育苗培土 “オニオンエースPアップ”
- 情報clip
 - ☐ 12. 「ダンロップ」トラクター用タイヤ モニター報告
 - ☐ 13. 最新！農作業着ファッションショーが大好評
 - ☐ 14. 役に立つ点検整備グッズや小農具人気ランキング
 - ☐ 15. 中古農機インターネット情報「アルーダ」リニューアル
- ☐ 16. Voice 読者の皆さんからの声
- ☐ 17. アグリ・フォト 読者の皆さんからの写真
- ☐ 18. 農業なんでも川柳

Q2. 今号の満足度をお答えください。

非常に良い 良い 普通 悪い 非常に悪い

Q3. 今後取り上げて欲しいテーマをご記入ください。

Q4. 農作業中に聞いている音楽やラジオ番組などあれば教えてください。(音楽～ジャンル・曲・アーティスト、ラジオ～選局・番組名など何でもお寄せください)

Q5. ご意見・ご感想・改善点などをご記入ください。

<農業なんでも川柳>応募欄

読者モニター「アグリポーター」に 応募します ☐

※ご応募いただいた方には編集部より改めて詳細をご連絡させていただきます。ご了承ください。

※お送りいただいたお名前、ご住所、電話番号などの個人情報は商品の発送、誌面づくりの基礎データとしての目的以外には一切使用いたしません。個人情報は厳重に保管・管理し、漏洩、滅失、毀損の防止、その他安全管理のために必要かつ適切な措置を講ずるよう努めます。また第三者への提供・開示などは一切いたしません。